

【足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会】議事録

会 議 名	令和元年度足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会		
開催年月日	令和2年2月13日（木）		
開催時間	午後7時00分 ～ 午後8時45分		
開催場所	足立区役所 12階 1205A会議室		
出席状況	出席委員数：6名 欠席委員数：0名		
出席委員	酒井 雅男 委員 (会長に選出)	芳木 亮介 委員	早川 貴美子 委員
	土田 寛 委員	工藤 信 委員 (副会長に選出)	馬場 優子 委員
事業者 (ヒアリング等 出席事業者)	・学校法人 東京女子医科大学 ・株式会社 梓設計		
事務局	衛生部衛生管理課		
審議事項	(1) 審査内容について (2) 項目1「財務状況」および項目2「資金計画」の審査 (3) 項目3「スケジュール」と項目4「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (4) 全体を通しての審議と採決		
1 開会から諮問まで	<事務局> ・あいさつ ・配付資料の確認 ・委員紹介 ・審議のすすめ方の説明 <酒井委員>（会長司会） ・定足数の確認による会議の成立 ・会議非公開の確認 ・審査会についての説明 （補助金交付決定の妥当性について確認、審査する旨説明） ・諮問 （足立区長代理で衛生部長から会長へ諮問書授受）		

2 審議事項 (1) 審査内容について	<事務局> - 各委員の意見を反映させた審査確認表に基づいて、審査項目、審査内容等について説明。 <全委員> - 審査の項目、内容、基準および方法について、審査会の総意のものとして全委員が了承する。
2 審議事項 (2) 項目1 「財務状況」 および項目2 「資金計画」 の審査	◆財務状況◆ <■■■■委員> 前年度と同じ方法で分析したところ、経営効率性、事業成長性、財務安全性などからみても、結論として財務状況等の内容を総合的に斟酌し、補助金交付を否定するほどの問題点はないものと判断する。 有利子負債が増えているが、借入金利率が高くないため危険なレベルではない。有利子負債に依存する傾向にあると思われるため注視が必要だが、問題はないと判断する。 当初 2019 年は借入 14 億となっていたが、今回の資料では自己資金 19 億となっている背景については、直接事業者ヒアリング時に確認する。 よって、総合評価としては「適」である。 <■■■■委員> 改善理由はなにか。 <■■■■委員> 医療収入が増えていることによる。 <■■■■委員> 有利子負債が増えているのは問題ないのか。 <■■■■委員> 望ましくはないが資金調達能力はあり、借入利率が上がっていないので、余力は十分にあると見受けられる。 ◆資金計画◆ <事務局> 学校法人東京女子医科大学の 2018 年度（実績）から 2021 年度（病院開設予定）までの各年度の事業資金計画（収支予定）について説明。補助金の交付を決定した場合、今年度（2019 年度）は、区から 24 億円の補助となる。 参考：病院棟分の支出予定額（工事費） ①2018 年度（実績） 2,153,618,172 円 ②2019 年度 3,230,427,258 円 ③2020 年度 3,230,427,258 円 ④2021 年度 12,921,709,032 円

2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	～《事業者入室》～ <事業者>（自己紹介後） ・工事進捗について、月毎に撮影した現地写真を参考に説明。 2019年11月に杭133本完了。 建築基準法に定められた中間検査を2019年11月19日受審し合格。 ・病院棟の各種図面を参考に、以下の6つの機能が設計に反映されていることを説明。 ①救命救急センターに必要な医療の機能 ②地域災害拠点中核病院に必要な医療の機能 ・燃料タンク内への浸水対策について、パワーポイントを使用して説明。 ・3日分の受水槽の保有について、パワーポイントを使用して説明。 ③地域医療支援病院に必要な医療の機能 ④周産期母子医療センターに必要な医療の機能 ⑤高度急性期に必要な医療の機能 ⑥地域がん診療病院に必要な医療の機能 ・保育園に対する放射線防護について、パワーポイントを使用して説明。法で定められている基準値の約1/20に遮蔽できる仕様とした。 <委員> 別紙4のスケジュールでは2020年1月に免震装置設置が完了しているはずだが、進行状況はどうか。 <事業者> 概ね計画どおりである。 <委員> 各診療科毎のヒアリングによる変更点はあるか。 <事業者> 機能において変更はない。 <委員> MFICUはどこか。 <事業者> 図面上は6階に設計している。しかし、実施については検討中である。 <委員> ICU設置について、地域医療支援病院（機能3）と高度急性期（機能5）は兼ねることはできず、各々設置が必要ではないか。説明の中では重複しているように聞こえたが。
--	---

2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	< 〇〇〇 > 高度急性期（機能5）に必要な医療機能については、病床数等の規定はない。 < 〇〇〇 委員 > 三次救急（機能1）で求める適当数のICU、CCUはどこに設置されているのか。 < 事業者 > 機能ごとに必ずしも病床数の配置をしなければならないものではなく、ICU等は重複して設置している。 高度急性期（機能5）について言えば、施設基準上の配置基準があるわけではない。 < 〇〇〇 委員 > 三次救急（機能1）で求められている適当なICUと病床数が定められている地域医療支援病院（機能3）のICUが別の階でも問題ないか。 < 〇〇〇 委員 > どのICUがどの機能に対応しているかを明確にする必要がある。対照表を作成して確定してほしい。 < 事務局 > 審査基準と病床数等について、機能要件を満たしているか確認する。 < 〇〇〇 委員 > 病床数が足りていれば良いというわけではなく、看護師の労働実情などの実用面を考慮して設計してほしい。 < 〇〇〇 委員 > 2019年度の資金計画について、当初が借入であったのに、自己資金へ変更となった背景は。 < 事業者 > 前年比較すると、人件費の適正化推進により、9か月で約6億の改善をした。結果収支差額を9か月間で約12億円を改善した。支払利息の節減をさせたいことから、改善した部分を充当して、借入から変更した。 < 〇〇〇 委員 > なるべく周囲の景観に合ったスロープのデザインを考慮してほしい。 < 事業者 > 考慮する。
---	--

2 審議事項 (3) 項目3 「スケジュール」と項目4 「事業計画および工事・建築内容」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	～《事業者退室》～ <■■■委員> 地域災害拠点中核病院（機能2）の備蓄機能の詳細は確認するのか。 <事務局> 医薬品、食料品など、病院機能を3日間維持できる基準というのではないため、ある程度は病院側にお任せになる。 竣工時に現地確認が必要となる。その時に備蓄品や保育室、ICUなど確認していく。 <■■■委員> 竣工前に審査会とは別の委員の皆で現地を確認する機会を設けて、竣工後に最後の補助金審査会時に最終審査するのが良いのでは。
《 休 憩 》（審査確認表回収および集計）	
2 審議事項 (4) 全体を通しての審議と採決	<事務局> 各委員の総合評価においては「適」といただいております、全体として「適」と思われる。 <■■■委員> 今回、足立区大学病院施設等整備費補助金交付条例施行規則第5条第1項に基づく補助金の交付の申請があった学校法人東京女子医科大学に対して、補助金の交付の決定は妥当であると思われる委員の方は挙手を願う。 挙手 6名 <■■■委員> 結果として、6名中6名の賛成結果となり、足立区大学病院施設等整備費補助金交付条例施行規則第14条第3項により、当審査会は、今回、補助金の交付の申請があった学校法人東京女子医科大学に対して、病室、治療室等について、各機能に即応した図面等と照合し確認がとれたことを条件とした上で、補助金の交付の決定をすることは妥当であると決する。 以 上
3 閉会	<事務局> ・事務連絡